

## 平成 27 年度奥州市病院事業報告書

### 1 概況

#### (1) 統括事項

##### ア 病院事業全体としての状況

奥州市立病院改革プラン（計画年度平成 26 年度から平成 30 年度）に基づき、平成 27 年 4 月から常勤職員のいる総合水沢病院、まごころ病院、前沢診療所、衣川診療所、衣川歯科診療所の 5 つの市立医療施設を地方公営企業法の全部適用の医療局として設立し、事業管理者が組織・人事・財務に関する責任をもって施設運営をしていく形へ統一を行いました。これにより、平成 27 年度は医療局として新たに院長・所長会議などの諸会議を開催したり、技術主任が中心となって医療技術職職員同士で意見交換や業務支援を行ったりするなど、施設を横断し、職員が一丸となって経営のより一層の改善と業務効率の向上や平準化に向けて、新たなスタートを切った一年となりました。

また、国の新公立病院改革ガイドラインに基づき、改めて奥州市立病院・診療所改革プラン（改訂版）（計画年度平成 26 年度から平成 32 年度）を平成 28 年 3 月に策定し、今後の市立医療施設としての具体的な方向性を定めました。

はじめに、診療体制については、医師数は 30 人となっており、前年度と比べ 1 名増（水沢病院：内科）となっています。医師不在により平成 26 年 8 月から休止中である前沢診療所については、継続的な医師確保対策の結果、平成 28 年 5 月からの再開となりました。医療局の設置に伴い、施設間における人事交流も開始しており、各個人のスキルアップを行いながら、医療機関としてのレベルアップにつなげていきます。

次に、経営状況として、入院患者数は 64,527 人（前年比 873 人増）、外来患者数は 164,378 人（前年比 2,712 人減）となっており、一日当たりの平均患者数は入院で 176.3 人（前年度 174.4 人）、外来で 676.5 人（前年度 684.8 人）となりました。一般病床利用率は 83.2% で、前年度の 81.0% から 2.2 ポイントの増となっています。

医療局として初年度となった収益的収入及び支出（税抜）について、医業収益が 3,971,421,918 円、医業外収益については 1,115,392,507 円となりました。このほか特別利益が 383,064,322 円で、病院事業収益総計は 5,469,878,747 円となりました。

支出については、医業費用が 4,839,015,039 円、医業外費用については 177,422,597 円となりました。このほか特別損失が 18,207,444 円で、病院事業費用総額は 5,034,645,080 円となりました。

この結果、医業収支で 867,593,121 円の損失でしたが、経常収支では市からの繰入金等により 70,376,789 円の利益となり、特別損益を含めた病院事業収支における純損益では、435,233,667 円の純利益となりました。

また、資本的収入及び支出（税込）については、収入は 187,908,000 円で、支出は 620,546,449 円となり、収入が支出に対して不足する額は過年度分の損益勘定留保資金で補てんしました。

## イ 医療機関ごとの状況

### (ア) 総合水沢病院

医師数は平成 26 年度と比較し、内科で 1 名増の合計 19 名となっています。入院患者数は 48,411 人で前年度と比較して 49 人 (0.1%) の増となり、外来患者は 88,952 人で前年度と比較して 2,211 人 (2.4%) の減となりました。

収益的収入 (税抜) について、医業収益で 2,817,890,762 円、医業外収益は 519,023,822 円、このほか特別利益が 378,349,000 円で収益総額は 3,715,263,584 円となりました。

収益的支出 (税抜) においては、医業費用で 3,193,456,626 円、医業外費用は 96,217,686 円、このほか特別損失が 1,341,576 円で支出総額は 3,291,015,888 円となりました。

この結果、医業収支では 375,565,864 円の損失、経常収支では 47,240,272 円の利益となり、特別損益を含めた純損益では 424,247,696 円の純利益となりました。

なお、平成 20 年度に起債をした公立病院特例債につきましては、平成 27 年度の償還により完済となりました。

### (イ) まごころ病院

医師数は平成 26 年度と変わらず 9 名となっています。入院患者数は 14,524 人で前年度と比較して 1,502 人 (11.5%) の増となり、外来患者は 52,785 人で前年度と比較して 3,110 人 (6.3%) の増となりました。

収益的収入 (税抜) について、医業収益で 860,351,404 円、医業外収益は 208,401,060 円、このほか特別利益が 4,715,322 円で収益総額は 1,073,467,786 円となりました。

収益的支出 (税抜) においては、医業費用で 1,075,925,933 円、医業外費用は 44,432,547 円、このほか特別損失が 223,995 円となりました。

この結果、医業収支では 215,574,529 円の損失、経常収支でも 51,606,016 円の損失となり、特別損益を含めた純損益では 47,114,689 円の純損失となりました。

### (ウ) 前沢診療所

医師の不在により平成 26 年 8 月から休止している診療所の再開に向け、医師確保対策を講じた結果、27 年度中は再開には至りませんでした。着任医師が内定し、平成 28 年 5 月から診療を再開できるはこびとなりました。休診中のため、外来患者は訪問看護の利用者 1,578 人のみで前年度の訪問看護利用者と比較して 76 人 (5.1%) の増となりました。

収益的収入 (税抜) について、医業収益が 22,925,233 円、医業外収益が 173,914,625 円で収益総額は 196,839,858 円となりました。

収益的支出 (税抜) において、医業費用が 120,203,621 円、医業外費用は 18,221,801 円、このほか特別損失が 2,536,873 円で支出総額は 140,962,295 円となりました。

この結果、医業収支で 97,278,388 円の損失、経常収支では 58,414,436 円の利益となり、特別損益を含めた純損益では 55,877,563 円の純利益となりました。

(エ) 衣川診療所

医師数は平成 26 年度と変わらず 1 名となっています。入院患者数は 1,592 人で前年度と比較して 641 人 (28.7%) の減となり、外来患者は 13,852 人で前年度と比較して 972 人 (6.6%) の減となりました。

収益的収入 (税抜) について、医業収益で 211,147,730 円、医業外収益は 172,422,012 円で収益総額は 383,569,742 円となりました。

収益的支出 (税抜) においては、医業費用で 360,121,123 円、医業外費用は 15,896,636 円、このほか特別損失が 9,859,000 円で支出総額は 385,876,759 円となりました。

この結果、医業収支では 148,973,393 円の損失、経常収支では 7,551,983 円の利益となり、特別損益を含めた純損益では 2,307,017 円の純損失となりました。

(オ) 衣川歯科診療所

医師数は平成 26 年度と変わらず 1 名となっています。所長が平成 27 年度末に退職となりましたが、間を空けずに後任の所長を決定できました。外来患者は 7,211 人で前年度と比較して 426 人 (6.3%) の増となりました。

収益的収入 (税抜) について、医業収益で 59,106,789 円、医業外収益は 41,630,988 円で収益総額は 100,737,777 円となりました。

収益的支出 (税抜) においては、医業費用で 89,307,736 円、医業外費用は 2,653,927 円、このほか特別損失が 4,246,000 円で支出総額は 96,207,663 円となりました。

この結果、医業収支では 30,200,947 円の損失でしたが、経常収支では 8,776,114 円の利益となり、特別損益を含めた純損益では 4,530,114 円の純利益となりました。